

第 19 回 東北森林科学会大会 プログラム

とき：2014年9月1日(月)～2日(火)

ところ：コラッセふくしま(福島県福島市三河南町 1-20)

主催：東北森林科学会

共催：一般社団法人 日本森林学会

一般社団法人 日本森林技術協会

後援：福島県

東北森林科学会第19回大会運営委員会

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

岩手大学農学部農林環境科学科内

事務局：伊藤幸男 TEL & FAX 019-621-6280

E-mail：2014taikai.tsfs@gmail.com

大会に参加される皆様へ

受付

日時 9月1日(月) 午前10時より

場所 コラッセふくしま 4階 多目的ホール前ロビー

受付時に大会講演要旨集を配布致します。また、事前に参加費、懇親会費をお振り込み頂いていない方は、受付時にお支払いください。

大会参加費(当日) (要旨集代を含む)	2,500円
懇親会参加費(当日)	5,000円

総会

日時 9月1日(月) 16:00-17:30

場所 多目的ホールA

懇親会

日時 9月1日(月) 18:00-20:00

場所 コラッセふくしま 12階 展望レストラン「Ki-ichigo(きいちご)」

編集委員会

日時 9月1日(月) 10:30-11:30

場所 402会議室B(4階)

理事会

日時 9月1日(月) 11:30-13:00

場所 402会議室B(4階)

昼食、宿泊等について

昼食及び宿泊につきましては、各自でご対応いただきますようお願い致します。周辺に有料駐車場がありますが、台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

大会日程

	9月1日(月)		9月2日(火)	
9:30				
10:00	受付		ポスター準備	口頭発表
10:30				
11:00	ポスター準備	編集委員会		
11:30			ポスターセッションB	
12:00		理事会		テーマ別セッションB
12:30	ポスターセッションA			
13:00			ポスター回収	
13:30				
14:00				
14:30	ポスター回収／準備	テーマ別セッションA		
15:00				
15:30				
16:00	東北森林科学会総会			
16:30				
17:00				
17:30				
18:00				
18:30				
19:00	懇親会			
19:30				
20:00				

テーマ別セッション

■ テーマA

9月1日(月)13:00-16:00 〈多目的ホールA〉

森林における放射性物質の動き

コーディネーター：篠宮佳樹（森林総研東北支所），蛭田利秀（福島県林業研究センター）

東日本大地震に伴う東京電力福島第一原発事故から約3年が経過し、森林に関する状況や関心事も変化しつつある。また、この間、科学的知見の蓄積も進んだ。事故後、福島県林業研究センターなどでは、森林における除染方法、森林での放射性セシウムの蓄積、移行等の調査が実施されてきた。本セッションでは、それらの取組みをきっかけとして、森林における放射性物質の動きを中心に森林における放射性物質の問題に関する現在の知見の整理と今後の森林における課題や研究の方向性について意見交換・議論を行いたい。

- 1 立木樹幹の線減衰係数の測定 大谷義一（森林総研）・安田幸生（森林総研東北）・坪山良夫（森林総研）
- 2 多田野試験林における林床上の¹³⁷Csの動態
蛭田利秀（福島県林研セ）・川口知穂（福島いわき農林）・壽田智久（福島県中農林）・坪山良夫・大谷義一・小林政広（森林総研）・篠宮佳樹（森林総研東北）
- 3 森林内の沢地形における¹³⁷Cs濃度の把握－多田野試験林における調査事例－
川口知穂（福島いわき農林）・蛭田利秀（福島県林研セ）
- 4 林内雨と土壌水に含まれる放射性セシウム
小林政広・大貫靖浩（森林総研）・篠宮佳樹（森林総研東北）・蛭田利秀（福島県林研セ）
- 5 渓流水に含まれる放射性セシウム
篠宮佳樹（森林総研東北）・小林政広・玉井幸治・大貫靖浩・伊藤優子・清水貴範・飯田真一（森林総研）・延廣竜彦（森林総研北海道）・澤野真治・坪山良夫（森林総研）・蛭田利秀（福島県林研セ）
- 6 広葉樹林下のササ個体内に蓄積された放射性セシウムの動態
齋藤智之（森林総研東北）・赤間亮夫（森林総研）・高橋正通（森林総研）
- 7 スギ及びヒノキ立木における幹材部の放射性Cs濃度分布比較
小川秀樹（福島県林研セ、首都大東京）・伊藤博久・村上 香（福島県林研セ）・熊田 淳（福島県南農林）・宗方宏幸（福島県庁）・小野田義宏（福島相双農林）・吉田博久（首都大東京）
- 8 岩手県内のしいたけ原木栽培における放射性物質の影響と対応
成松眞樹・高橋健太郎・太田浩・照井重光（岩手県林研セ）

■ テーマB

9月2日(火)11:15-14:15 〈多目的ホールA〉

海岸防災林再生現場へのマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ苗の供給

コーディネーター：織部雄一郎（（独）森林総合研究所東北育種場）

東北地方のクロマツ海岸防災林は、潮・風・飛砂の害から人の生活を防備する公共施設として機能してきたが、一部にマツ材線虫病の激害林が見受けられている。さらに、東日本大震災の津波で多くの海岸防災林が壊滅した。そこで、東北の公的機関は民間と協力し、抵抗性クロマツの震災復興事業への供給体制を確立するために、農食研事業「東北地方海岸林再生に向けたマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ種苗生産の飛躍的向上」を立ち上げた。ここでは、本プロジェクトの取り組みを紹介し、抵抗性クロマツの供給体制のあり方について討論する。

- 1 海岸防災林再生現場への抵抗性クロマツ供給体制の確立 織部雄一郎・山野遼太郎（森林総研東北育種場）
- 2 東北における植物ホルモン処理によるクロマツ雌花の誘導 田中功二（青森県産技セ林研）
- 3 東北・寒冷地における抵抗性クロマツのさし木 今野幸則（宮城県林技セ）
- 4 クロマツ精英樹種子由来の不定胚による苗木の大量増殖
大西 昇・安野紀子（キリン(株)基盤技術研究所）・丸山毅（森林総研）
- 5 東北への西日本産抵抗性クロマツの導入 小澤 創（福島県林研セ）・渡部公一（山形県森研セ）

ポスターセッション

今大会も2日間に分けて実施します。セッション開始時刻までに、ご自分の番号（下記参照）のパネルにポスターを貼ってください。開催要領でご案内のとおり、パネルは「幅 90cm, 高さ 210cm (縦長)」です。コアタイムには発表者はポスター前に立って説明し、質疑を受けて下さい。

ポスターセッション1日目

9月1日(月) 11:30-14:00 (多目的ホールB)

10:30-11:30 ポスター準備

11:30-12:30 コアタイム

14:00-16:00 ポスター回収

- 1 針葉樹伐採跡地におけるワラビポット苗活着状況 中村人史 (山形県森研セ)
- 2 ヒラタケ・エリンギ栽培におけるクマイザサの利用 黒澤 匠 (秋田県立大学生物資源科学部)
- 3 ナメコの白色突然変異体冷凍保存株の特性について 土屋 慧 (青森県産技セ林研)
- 4 再利用可能な繊維を基材としたキノコ栽培の種菌養法 古瀬茉衣子 (甲南大学院自然科学研究科)
- 5 再利用可能な布を用いたキノコ栽培キットの開発 樋口亮太 (甲南大学院自然科学研究科)
- 6 ムラサキシメジ野外栽培における放射性物質の影響についてII 今埜実希 (宮城県林技セ)
- 7 スギ林内における野外栽培オオイチョウタケの放射性物質蓄積状況 渡辺広大 (宮城県林技セ)
- 8 秋田県の農業副産物排出傾向とその利活用について 菅原大夢 (秋田県立御所野学院高等学校)
- 9 NC 安定同位体比によるシイタケ産地判別の検討 高橋拓也 (山形大農)
- 10 ブナシメジ栽培施設における害菌汚染状況 鈴木博美 (秋田県林研セ)
- 11 津波被害を受けた青森県太平洋岸クロマツ林材の利用方法の検討 守田託満 (青森県産技セ林研)
- 12 スギ各部位逐次抽出物の藍藻類 (*Microcystis aeruginosa*) に対する増殖抑制効果 鈴木佑梨 (山形大農)
- 13 菌類を用いた花粉症起因植物に対する花粉飛散防止の可能性 窪野高德 (森林総研)
- 14 ヤツガタケトウヒの不定胚の大量増殖 大西 昇 (キリン(株) 基盤技術研究所)
- 15 出羽の雪1号、2号と精英樹挿木クローンの林齢5年次における樹高の比較 宮下智弘 (山形県森研セ)
- 16 青森県西海岸地域におけるマツ材線虫病抵抗性クロマツの生存要因 伊藤昌明 (青森県産技セ林研)
- 17 多雪地に植栽したスギ雪害抵抗性品種コンテナ苗の活着状況 玉城 聡 (森林総研 林育セ東北)
- 18 岩手県内3か所のスギさし木検定林におけるスギカミキリ被害調査結果 蓬田英俊 (岩手県林技セ)
- 19 クロマツ海岸林を更新する際の伐採幅の検討 渡部公一 (山形県森研セ)
- 20 青森県三沢市の海岸防災林植栽試験地における土壌環境 小野賢二 (森林総研東北)
- 21 東北地方における大型タワーヤードの導入可能性 安住吉功 (岩手大院農)
- 22 スギ大径木における中型ハーベスタの作業性能と適応可能性 麻生臣太郎 (岩手大農附属寒冷 FSC 滝沢演習林)
- 23 伐植一貫作業システムにおける各工程—秋田県小比内山国有林における事例から— 天野智将 (森林総研東北)
- 24 スギ葉ヘキササン抽出物の植物生長抑制活性 田中駿耶 (山形大農)

- | | |
|---|---------------|
| 25 宮城県海岸クロマツ林の収量-密度図の構築 | 南 佳織 (山形大院農) |
| 26 山形大学上名川演習林スギ林の収量-密度図の構築 | 白川浩司 (山形大農) |
| 27 タイガの森林限界付近におけるカラマツの温暖化影響評価 | 小林昂太 (山形大農) |
| 28 山形大学上名川演習林の林道辺縁部における土砂崩壊地と植生的特徴の関連性の検討 | 飯塚眞成 (山形大農) |
| 29 再造林コスト縮減に向けた林地残材のバイオマス活用に関する試行事例 | 森川東太 (山形県森研セ) |
| 30 海岸クロマツ林における密度管理が林内光環境に与える影響 | 新田響平 (秋田県林研セ) |

ポスターセッション2日目

9月2日(火) 10:30-13:00 (多目的ホールB)

9:30-10:30 ポスター準備

11:30-12:30 コアタイム

13:00-14:00 ポスター回収

- | | |
|---|--------------------|
| 1 ナラ枯れ被害跡地における生物群集の調査 | 齊藤正一 (山形県森研セ) |
| 2 クズが登攀可能な支柱の直径観察 | 斉藤幹保 (山形大農) |
| 3 ブナ葉の諸形質の個体差 | 飯沼久仁佳 (山形大農) |
| 4 小流域における樹洞の出現頻度と形態の特徴 | 花井滉大 (山形大院農) |
| 5 庄内空港クロマツ防風林帯 27 年の軌跡 | 渡邊 潔 (山形県森研セ) |
| 6 火入れ地拵えを行ったスギ植栽地の植生 | 上野 満 (山形県森研セ) |
| 7 山形県におけるナラ林の皆伐後の更新状況 | 千葉 翔 (山形県森研セ) |
| 8 列状間伐施行地における冠雪害の発生状況 | 吉崎 明 (山形県森研セ) |
| 9 スギコンテナ苗生産における培地の検討 | 佐藤博文 (秋田県林研セ) |
| 10 ナラ類の樹高-直径枝下関係と個体管理 | 和田 覚 (秋田県林研セ) |
| 11 多雪地域における植栽一年目のスギコンテナ苗の雪害・干害状況 | 長岐昭彦 (秋田県林研セ) |
| 12 長伐期施業に向けたスギ立木幹材積について | 伊藤俊一 (宮城県林技セ) |
| 13 複層林の寒害防止効果の再検討 | 柴田銃江 (森林総研東北) |
| 14 コンテナ形状や育苗密度に応じたスギ苗形状の違い | 塩野啓一 (岩手大院農) |
| 15 植栽密度がスギの植栽後 10 年間の成長に及ぼす影響 | 成松眞樹 (岩手県林技セ) |
| 16 津波堆積土などを用いた海岸防災林造成地におけるクロマツ苗木の活着等 | 川口知穂 (福島県いわき農林事務所) |
| 17 ヤマネの休眠場所周辺環境の特性 | 中村夢奈 (やまがたヤマネ研究会) |
| 18 白神山地暗門調査地における繁殖鳥類モニタリング (II) | 鈴木祥悟 (森林総研東北) |
| 19 山形県森林研究研修センターにおける森林環境学習の取り組みと学校林整備の効果と検証 | 高橋 文 (山形県森研セ) |
| 20 森林除染地における放射性物質の移動量の簡易的推定方法 | 福山文子 (福島県林研セ) |

- | | | |
|----|--|----------------|
| 21 | 森林土壌中における放射性物質濃度と放射線量率の深度分布 | 安田幸生（森林総研東北） |
| 22 | 森林総合研究所東北支所構内のスギ林における降雪遮断量の観測 | 久保田多余子（森林総研東北） |
| 23 | 海岸砂丘地の前線部に植栽した広葉樹の成長 | 金子智紀（秋田県林研セ） |
| 24 | 長坂試験地における 2013/2014 年積雪期の樹冠通過降水量 | 成田義人（秋田県林研セ） |
| 25 | | |
| 26 | 東日本大震災による海岸林赤枯れの立地要因分析 | 小谷英司（森林総研東北） |
| 27 | 地すべり地における地震動の観測－2014 年 5 月 20 日に発生した小地震－ | 岡本 隆（森林総研東北） |
| 28 | 木質バイオマスと有機性廃棄物堆肥を用いた植生基材等の開発 | 皆川 豊（宮城県林技セ） |

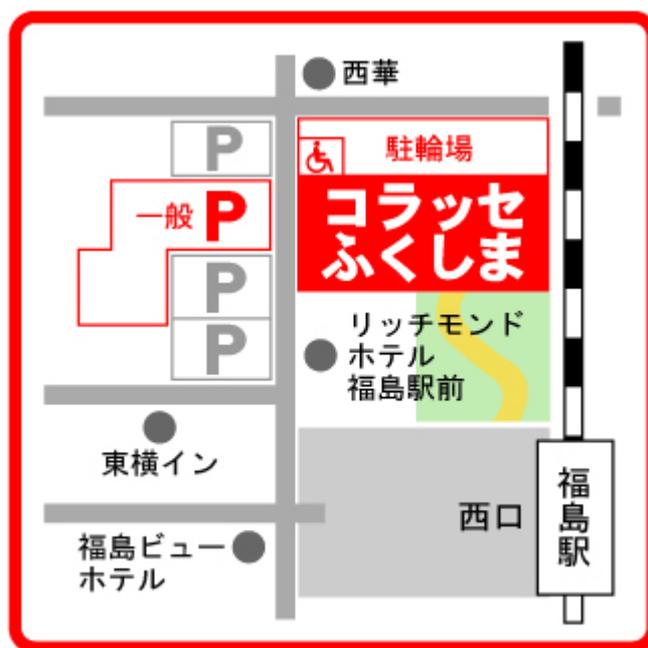
□ 頭 発 表

9 月 2 日（火）9:30-11:15（多目的ホール A）

口頭発表は 1 題 15 分（発表 12 分、質疑応答 3 分）厳守でお願いします。発表者は、次の発表の座長を務めて下さい。使用機材は液晶プロジェクターです。配付資料のある発表者は御自身で必要枚数をご準備下さい。USB フラッシュメモリあるいは CD-ROM に保存した PowerPoint 用ファイルを、大会 1 日目の 9 月 1 日中に会場係にお渡しください。なお、会場のパソコンの Windows 7、PowerPoint のバージョンは「2010」の予定です。円滑な進行のため、パソコンの持ち込みはお断りいたします。

- | | | | |
|-------------|---|---|------------------------|
| 9:30-9:45 | 1 | 山形版ブナ豊凶予測手法－2013 年の結実状況による検証－ | 小山浩正（山形大農） |
| 9:45-10:00 | 2 | 岩手県被災海岸林跡地での植樹造林における落葉広葉樹の現地適応性－久慈市大湊での植栽試験－ | 橋本良二（岩手大農） |
| 10:00-10:15 | 3 | 津波被災海岸林跡の植栽試験地に施工した被覆工による夏季の地温抑制効果 | 齋藤武史（森林総研東北） |
| 10:15-10:30 | 4 | 岩手県における津波被害跡地に植栽したマツ類および広葉樹類の初期生育状況 2－苗木の種類、植付方法の違いによる比較－ | 小岩俊行（岩手県林技セ） |
| 10:30-10:45 | 5 | ウェットブラストによるしいたけ原木の除染 | 伊藤博久（福島県林研セ） |
| 10:45-11:00 | 6 | 蔵王におけるオオシラビソ針葉の大規模な変色被害 | 磯野昌弘（森林総研東北） |
| 11:00-11:15 | 7 | 重機使用地拵作業とコンテナ苗低密度植栽による低コスト再造林 | 外館聖八朗（ノースジャパン素材流通協同組合） |

大会会場案内図



大会に関する問い合わせ先

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8 岩手大学農学部共生環境課程内

東北森林科学会 第19回大会運営委員会

事務局：伊藤 幸男 TEL & FAX 019-621-6280

E-mail：2014taikai.tsfs@gmail.com